チーフ・ブランディング/カルチャー・オフィサーの
吉羽優子氏が挑む
dentsu Japan
カルチャー変革の全貌

TOP › プレスリリース ›
レイラ・ピニェイロとヒカルド・バセラール　ブラジル音楽の巨星ジョアン・ドナートに捧げるアルバムをリリース

ジョアン・ドナートが亡くなる前に遺した未発表曲も収録9月27日配信スタート

Leila Pinheiro and Ricardo Bacelar/ Fea...
Assistir m...
Compartilh...
BRISA DO MAR/SURI
LEILA PINHEIRO AND RICAI
Feat. JAQUES M
Assistir no YouTube

レイラ・ピニェイロ、ヒカルド・バセラール

歌手のレイラ・ピニェイロ(Leila Pinheiro)とマルチプレーヤーのヒカルド・バセラール(Ricardo Bacelar)がタッグを組んで制作したアルバム「ドナート」(Donato）の配信が今月27日（金曜日）にスタートする。同アルバムには、ブラジルの作曲家・ミュージシャン・アレンジャーで、生きていれば今年の8月17日で90歳の誕生日を迎えるはずだったジョアン・ドナートの楽曲が新たな解釈で収録されている。

ドナートの楽曲に没頭する作業にレイラを誘ったのはヒカルド・バセラールの方だった。アルバム全編でピアノの音響を担当したバセラールは、「ドナートの作品に新たな視点をもたらすようなアルバムを作りたかった。レイラはジャスミン・スタジオのあるフォルタレーザまで来てくれ、レコーディング初日に早速二人で「ルガール・コムン(Lugar Comum)」「ア・ハン(A Rã)」の２曲を吹き込んだ。ミュージシャンでもある彼女と

パーパスを体現する組織へ変わる3つの戦術
視点
空気
仕立て
の変化

アクセスランキング

「何か懇願するような表情だった…」紀州のドン・ファンの“右腕社員”が法廷で見た早貴被告の変わり果てた姿
神宮寺 慎之介 1

「紀州のドン・ファン」と10年連れ添って離婚した元妻Cさんが証人に、法廷でおもわず声を震わせた理由
神宮寺 慎之介 2

「紀州のドン・ファン」の愛人が出廷し「夜のベッド事情」について証言、傍聴席の女性記者も赤面したその中身
神宮寺 慎之介 3

dentsu JapanのCOOが語る「事業変革を速させるガバナンスの在り方」
Sponsored

鉄道の衰退は人災だった、SLを走らせて「昭和の汽車旅」と言ってももはや通用しない
池口 英司 4

【キャスティングボート握る国民民主】なんと8.7倍のレバレッジ…国民・玉木代表に絶好機到来、連立話は参院選後か
渡辺 喜美 5

駅ナカ？ホテル経営？そんなものは鉄道会社の柱になり得ない、乗客がいないとダメになるだけだ
池口 英司 6

カルチャー醸成を担う役員“CBCO”を配置する電通、組織はどう変わるか
Sponsored

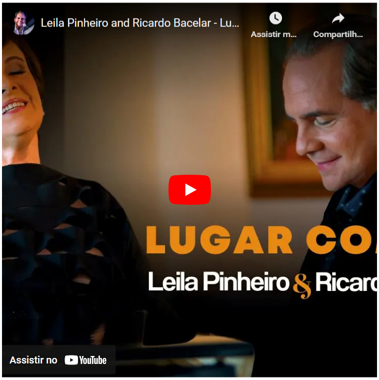
工場閉鎖や解雇も？フォルクスワーゲンを追い詰めたドイツ政府のEV政策「朝令暮改」
新潮社フォーサイト 7

税務調査が増えている！？現地に踏み込む「実地調査」、納税者への事前通知はどうやってくる？
種市 房子 8

【石破氏はなぜ負けた】「敵はもっと近くに置け」ゴッドファーザーは言ったのに…ブレない異端者がブレ、失った信用
渡辺 喜美 9

紀州のドン・ファンに「無担保で2億円貸して」と泣きついた女性が公判出廷、そのとき早貴被告が見せた意外な一面
神宮寺 慎之介 10

一緒にハーモニーを紡ぎながら、演奏・録音していく作業は全てが自然な流れで進行した。レイラは歌手としてもピアニストとしても、正確かつ要求の厳しいアーティストであり、我々二人のコミュニケーションは円滑だった」と話す。



レイラ・ピニェイロ、ヒカルド・バセラール

「ヒカルドのスタジオはこれまで私がレコーディングに使ったことのあるスタジオの中でも屈指の素晴らしい施設で、ジャスミン・レコードというレーベルの存在も知っていたが、随分変わったオファーだなというのが正直な印象だった。ドナート作品はそれまでに何曲もレコーディングしており、ステージでの共演も多く、ドナートは1983年リリースの私のファーストアルバムに参加、私も彼のDVD「ドナトゥラル(Donatural)」に参加するなど、私にとって偉大な存在であるドナートに捧げるアルバムをこの時期に作ろうという選択肢は自分にはなかった」とレイラは話す。「ヒカルドからオファーを受けた時には、ドナートの生誕90年に合わせた発表のタイミングが絶妙に思え、また自分にとっては大きな挑戦になると感じた。」これまでに素晴らしいレコーディングやアレンジがされている曲に新たなアプローチを探すことは、ある意味では曲家のオリジナルのコンセプトを解体するような作業で、「ヒカルドのことを、そして彼が提案するものや、我々二人の出会いから生まれてくるものを全面的に信頼して、体当たりで取り組むことにした」という。

ピアノとヴォーカルによるアルバムのレコーディングに、ジャキス・モレレンバウムが加わって新たな輪郭が生まれた。モレレンバウムについてヒカルドは、「彼とは以前アルバム『アンダール・コン・ジル（Andar com Gil）』のレコーディングで共演したこともあって参加を依頼した。今回のアルバムへのジャキスの貢献は大きく、曲のアレンジは我々三人が協力して作り上げたと言っても過言ではない」という。レイラも「我々はトリオとして一緒にジョアン・ドナートと共作者たちの作品を深く読み込んだ」と語っている。

アルバムに収録されたドナートの作品12曲は、カエターノ・ヴェローゾ、ジルベルト・ジル、ホナウド・バストス、アベル・シルヴァ、シコ・ブア

パーパスを体現する組織へ変わる3つの
術、「視点」「空気」「仕立て」
Sponsored

ランキング一覧 ›

dentsu Japan
締引COOが語る
事業変革を
加速させる
ガバナンスの
在り方

無料会員のご案内

✓ 公開後30日間の記事が読めます
✓ 新着記事をメールでお知らせ

詳しくはこちら ›

ご登録 › ログイン ›

Premium会員のご案内

✓ プレミアム限定の記事配信
✓ プレミアム専用記事レイアウト
✓ 印刷に最適な画面提供

詳しくはこちら ›

ご登録 › ログイン ›

プレスリリース

“医食同源の社会実装”から見える未来とは？ 第２回共催シンポジウム開催

【10/31より】「【製造業・工場向け関連向け】「経営者のための助成金のす す…

累計ファンド申込総額400億円突破記念キャンペーン（第1弾 Part1）

オルタナティブ投資プラットフォーム「オルタナバンク」、『【超短期】投資家…

あしかがフラワーパークが日本最古の学校『史跡足利学校』を花と光の魔法で期…

プレスリリース一覧 ›

ルケ、マルロン・セッチ、シルヴィオ・フラーガ、リジアス・エニオとの共作。この中で唯一の未発表曲である「コンタス・ジ・ヴィードロ（Contas de Vidro）」は、作曲者ドナートの生前にイヴォーネ・ベレンを通じてレイラ・ピニェイロの手に渡った。「この曲はドナートとジョアン・ジルベルト、リジアス・エニオとの共作で、これまでインストゥルメンタルバージョンしか録音されていなかった。ドナートがイヴォーとの電話中に『これを送ったら、レイラは大喜びするな』と言っている声が聞こえたが、まさにその通りになった。この曲と『ヴェルボス・ド・アモール(Verbos do Amor)』では私がピアノを演奏した」とレイラは話す。ヒカルド・バセラールは、この曲と名曲「 ナトゥラルメンチ (Naturalmente)」でレイラとヴォーカルを共にしている。

予定されていたドナートの特別参加も実現しなかった。「リオに行って一曲ドナートにも参加してもらう計画だったが、残念なことにレコーディングの前に亡くなってしまった」という。

ジャキス・モレレンバウムは、「ア・ハン(A Rã)」、「アサフラオン(Açafrão)」、「ナケラ・エスタサオン(Naquela Estação)」、「 ナトゥラルメンチ (Naturalmente)」「コンタス・ジ・ヴィードロ（Contas de Vidro）」、「ジャ・キ・ヴォセ・デウ・モチーヴァ(Ja Que Voce Deu Motivo)」、「ヌア・イデイア(Nua Ideia)」「フロール・ジ・マラクジャー(Flor de Maracuja)」「ブリーザ・ド・マール～スルプレーザのメドレー(Brisa do Mar"/"Surpresa)」の9曲でチェロを披露している。

今回のアルバムの前にも、レイラとバセラールはジャスミン・ミュージックからリリースされた2作品で共演している。2023年には、レイラはボサノヴァ界の重鎮ロベルト・メネスカルの誘いを受け、メネスカル本人とヒカルド・バセラール、ヂオゴ・モンゾの合作アルバム「ノス・イ・オ・マール（Nos e o Mar）」に収録された「バイ・バイ・ブラジル（Bye Bye Brasil）」（作詞・作曲ロベルトメネスカル、シコ・ブアルケ）のレコーディングに参加した。さらに同年の年末には、二人で「セメンチ・ジ・マレ（Semente da Mare）」（作詞作曲ギリェールメ・アランチス）をシングルとしてリリースしている。

アルバム「ドナート」のサウンドは、レイラ・ピニェイロとヒカルド・バセラールが入念にこの作品を作り上げたことを反映している。「ドナート作品の扱われ方については、最新の注意を払った。彼の楽曲ような偉大な作品に新たな解釈を加えようとする場合、大きな敬意や厳密さが求められる」。レイラの考えでは、このアルバムには若い世代のピアニストや歌手、アレンジャーにドナート作品を紹介するという役割もある。「聴いた人が驚くような独自の視点を与えることができるのはとても興味深い経験だった。このアルバムは言うなれば誰も見たことのないジョアン・ドナートの肖像写真だと言える」。

プロフィール

ジョアン・ドナート（ジョアン・ドナート・ジ・オリヴェイラ・ネト）はアクレ州生まれの作曲家、ミュージシャン、ピアニスト、アコーディオン奏者、歌手で、2023年7月17日に他界。ボサノヴァ・ムーブメントに参加し、米国ではラテンジャズを広めた。2023年にはアルバム「セロトニーナ(Serotonina)」でラテングラミー賞を受賞するなど、世界に向けたブラジル音楽の発信に多大な貢献をした。

ヒカルド・バセラールはピアニスト、作曲家、音楽プロデューサーで、自身のレーベルであるジャスミンミュージックを立ち上げ、現在ブラジル国内で最も重要なレコーディングスタジオのオーナーでもある。リオデジャネイロの人気グループ、ハノイ・ハノイのメンバーとして長年活躍。ソロアーティストとしては、ベルキオール、イヴァン・リンス、ジルベルト・ジル、ファグネル、ロベルト・メネスカル、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ、エヂナルド、アメリーニャといった大物ミュージシャンたちとレコーディングしている。また米国のジャズ専門ラジオ局で最も頻繁にオンエアされたアーティストの一人に入ったことが2度ある。ヨーロッパや日本でもツアーを行っており、2024年には東京ブルーノート・プレイス公演を含む8公演の日本ツアーを開催した。

MPBやサンバ、ボサノヴァの歌手であり、ピアニスト、作曲家としても活躍するレイラ・ピニェイロは、44年のキャリアを持つ。ロベルト・メネスカルがプロデュースしたアルバム「Benção Bossa Nova（ベンサン・ボサ・ノヴァ)」の記録的ヒットでボサノヴァアーティストとしての名声を確立。これまでに多くの賞を獲得しており、来日公演も行っている。アントニオ・カルロス・ジョビン(Tom Jobim)、ジョアン・ドナート、イヴァン・リンス(Ivan Lins)らブラジル音楽を代表するアーティストとも共演。代表曲はジョビン作曲の「Espelho das Aguas（エスペーリョ・ダス・アグアス)」、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ(Flavio Venturini)とムリロ・アントゥーニス(Murilo Antunes)作曲の「Besame（ベサメ)」など。ピアノは10歳から演奏している。

ドナート - レイラ・ピニェイロ&ヒカルド・バセラール

feat. ジャキス・モレレンバウム

収録曲

A Rã（ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ）

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

2. **Lugar Comum**（ジョアン・ドナート/ジルベルト・ジル）

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

3. **Açafrão**（ジョアン・ドナート/マルロン・セッチ/シルヴィオ・フラーガ）

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

4. **Naquela Estação**（ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ/ホナウド・バストス）

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

5. **Brisa do Mar - Surpresa**（ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ, ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ）

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

6. **Verbos do Amor**（ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ）

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル、ピアノ

ヒカルド・バセラール - ピアノ

7. **Naturalmente** (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ、ヴォーカル

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

8. **Cade Voce** (ジョアン・ドナート/シコ・ブアルケ)

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

9. **Contas de Vidro** (ジョアン・ドナート/ジョアン・ジルベルト/リジアス・エニオ)

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル、ピアノ

ヒカルド・バセラール - ヴォーカル

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

10. **Ja Que Voce Deu Motivo** (ジョアン・ドナート/ホナウド・バストス)

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

11. **Nua Ideia** (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

12. **Flor de Maracuja** (ジョアン・ドナート/リジアス・エニオ)

レイラ・ピニェイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラール - ピアノ

ジャキス・モレレンバウム - チェロ

カバー：MZK

ジャスミン・スタジオにて録音

レコーディング：メウク

ミキシング：ベト・ネーヴェス（マンドゥーリ・スタジオ）

マスタリング：カルロス・フレイタス

プロデュース：ドナート - レイラ・ピニェイロ&ヒカルド・バセラール

企業プレスリリース詳細へ
PR TIMESトップへ

最新プレスリリース

一覧 ›

NEW
105,000件
助成金
月1,000円で見放題！
株式会社ナビット

【10/31より】「【製造業・工場関連向け】「経営者のための助成金のすすめ」（2024年10月版）」の販売を開始しました【助成金なう】

株式会社ナビット

2024.10.31

NEW
AlternaBank
400億円突破記念キャンペーン
目標利回り9.9%（税引前）の
投資金額上限撤廃ファンド登場！

累計ファンド申込総額400億円突破記念キャンペーン（第1弾Part1）

SAMURAI証券株式会社

2024.10.31

NEW
400億円突破！
投資家還元ファンド
目標利回り9.9%（税引前）

オルタナティブ投資プラットフォーム「オルタナバンク」、『【超短期】投資家還元ファンドID776』を公開

SAMURAI証券株式会社

2024.10.31

あしかがフラワーパークが日本最古の学校『史跡足利学校』を花と光の魔法で期間限定演出！

株式会社足利フラワーリゾート

2024.10.31